

令和6年度 自己評価・園関係者評価報告書

令和7年2月10日
幼稚園型認定こども園宇宿幼稚園

1 本園の教育目標

生かされて生きていることに感謝し、心豊かでたくましく生きる力の基礎を身に付けた子どもの育成。

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

建学の精神「まこと保育」を踏まえ、一人一人の違いに気づき、認め合う保育の在り方を考える。職員の専門性を高め、幼児理解を深める。

3 自己評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育目標	4	「まことの保育」を踏まえ、幼児一人一人の個性を大切に、思いやりとたくましさを持った「生きる力」の基礎づくりに努めた。
2	教育課程の編成・実施・反省	3	よりよい保育の実践を目指し、反省を生かした保育ができるように環境の工夫を行っていききたい。
3	健康・安全への配慮	4	毎日の安全点検やヒヤリハットの活用などを通して事故防止に努めている。マナーや個の発達に応じた食育指導を行った。
4	幼児理解・保育の充実	3	園の教育方針に即して学級集団が生き生きと活動できた。クラスの実態を捉えた、挑戦する保育ができるようにしていききたい。
5	研修・自己研鑽	3	教育者としての責務を自覚し、園内外の研修を充実させ、専門職として自己の更なる資質向上に努めた。
4	家庭や地域との連携	4	保護者への連絡をこまめに行い、連携を図った。地域の行事に参加し、地域の子育て支援の拠点として、開かれた幼稚園であるよう努めた。
5	園務等の処理	3	各自が責任を持ち園務処理を行うように努めた。
6	サービス態度	4	良好な勤務態度で職務を遂行できた。

評価（4…十分に成果があった 3…成果があった 2…少し成果があった 1…成果がなかった）

4 総合的な評価結果

評価	理由
3	一人一人の良さや違いを認め、個の理解を深めながら、保育の充実に努めてきた。園内外の研修に参加することで、資質向上も図ることができた。

評価（4…十分に成果があった 3…成果があった 2…少し成果があった 1…成果がなかった）

5 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教育・保育の質の向上	日常の保育の教材研究及び環境の工夫を充実させるとともに、学び合いの機会を設定し、自己の資質向上に努める。
2	小学校との連携	近隣小学校と相互に授業や保育を参観し合う機会を設け、幼少期からの連続した育ちについて共有する。
3	園児数確保	未就園児教室の内容を更に充実させるとともに、インスタグラム・ホームページによる園の魅力発信を行う。

6 園関係者評価委員会の評価

4段階評価（4とても良い 3良い 2良くない 1とても良くない）で実施。

- (1) 保育参観では、仏参、朝の会、保育の様子を見ていただいた。静と動の時間がしっかりと区別されていることにより、子どもたちが落ち着いた生活ができていること、先生の話聞く力がついていることを高く評価していただいた。
- (2) トラブルが起きても、対応、改善が早いことに高い評価をいただいた。
- (3) 子どもたちの様子から、「職員は自己評価を厳しくつけすぎではないか」との意見をいただいた。
- (4) 宇宿幼稚園の教育内容については全ての委員から高評価をいただいた。「子どもたちが伸び伸びと集団生活の中で学び、より良い人格形成が養われていて良い。」「これからも元気な子どもたちの声を聞きたい。」「教育目標にしっかりと取組、実践している」との意見をいただいた。